

# 美浦村区長会来町 町の公共施設等を視察

六月二十九日、茨城県美浦村の市川村長はじめ区長会の方々、親睦を深めるために本町を訪れました。  
町からは浅見町長をはじめ町



市川村長より挨拶

執行部と区長さん方が出席。一行は、まず保健センターや一般廃棄物最終処分場などの町公共施設、北方文化博物館を視察。その後、役場で懇談会が催され、町長より「二十一世紀を展望しながら、お互いに連携を取りながら発展していきましょう」と歓迎の挨拶があったのに続き、市川村長から「横越町は訪れるたびに発展しています。いろいろな点で御指導を受けた」と挨拶がありました。  
その後、お互いの区長会の現状や仕組み、区長の役割や報酬、選出方法などについて活発な意見交換が行われました。

## 交通事故防止を願ひ

### 町内各地で真剣な取り組みを展開

町内では、今年になって、若者四人が死傷する痛ましい事故が発生し、これ以上の犠牲者を出さないことが緊急の課題となっています。そのような中で、六月二十四日、役場で「横越町交

通安全対策会議」が開かれ、新潟南警察署の後藤交通課長を迎え、最近の事故の発生状況や、七月十六日に開通の大阿賀橋の交通安全対策などについて真剣な話し合いが行われました。

また、町内各地域でも交通事故防止に対する真剣な取り組みが行われ、藤山、駒込両地区では、六月十二日から二十六日まで、両地区の住民が中心となって、「交通事故にご用心カチカチ作戦」と銘打って交通事故防止に取り組みました。参加した



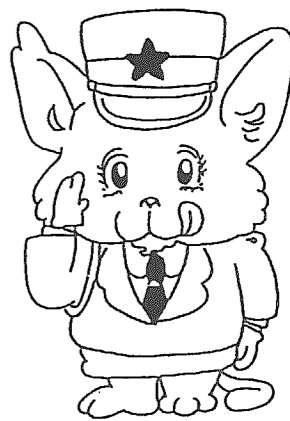
藤山、駒込地区での交通事故防止活動

## 夏の交通事故防止運動

◇期間 8月1日(金)～  
8月10日(日)まで

◇スローガン

夏の道  
ゆとりの心で  
さわやか運転



新潟県交通安全マスコット「交通ルルちゃん」

人たちは「交通安全」と書かれたのぼり旗を掲げ、カチンカチンと拍子木を鳴らし、「交通事故にご用心」、「わが町は絶対出さない交通事故」など掛け声を出しながら地区内を巡回し、事故防止を呼びかけました。今後も一カ月に一回、運動を続けていく予定です。

一方、横越下地区では、七月七日、「高齢者交通安全」七夕祭「体験学習会」が下横越会館で行われ、およそ六十人のお年寄りが参加しました。

坂井区長より「高齢化社会・車社会の中で、交通死亡事故が多発しています。油断できません」とあいさつ。新潟南警察署の後藤交通課長より「いつもの道でも気をつけようという気持ちが大切」と講話があり、続い



横越下地区での「七夕祭」体験学習会

## 町職員募集

～申し込みは8月18日まで～

### ▶職種及び人員

- (1) 一般事務職 若干名
- (2) 保健婦 若干名

### ▶受験資格

- (1) 一般事務職

昭和48年4月2日から昭和55年4月1日までに生まれた者で高等学校卒業程度の学歴を有する者(平成10年3月31日までに卒業見込みを含む)

- (2) 保健婦

昭和47年4月2日以降に生まれた者で、保健婦免許取得者、または平成10年に行われる保健婦国家試験により免許を取得見込みの者

### ▶申込方法

8月1日から8月18日までに役場総務課に用意してある受験申込書に必要事項を記入し提出してください。

### ▶採用試験

- ・第一次試験

試験日 9月21日(日)

会場 新潟市立宮浦中学校

- ・第二次試験

第一次試験合格者に別途通知します。

### ▶採用予定年月日

平成10年4月1日

反町 厚子(横越) 新任  
田中 鈴雄(沢海) 新任  
松原 貢(横越) 新任

## 交通安全指導員に二名を任命

交通安全指導員に、新たに二名の方が任命されました。



田中鈴雄氏



松原 貢氏

交通安全指導員は、地域住民に対する交通安全思想の普及啓発活動や歩行者の保護指導等の街頭活動を通じ、正しい交通ルールの励行を指導し、交通事故の防止に努めることを任務としています。

なお、町の交通安全指導員は次のとおりです。

- 小畑 義輝(木津) (敬称略)
- 皆川 昇市(藤山)
- 品田 桂子(横越)

## ご厚志に感謝

町に、次の方より社会福祉事業に役立てて欲しいと寄付がありました。

(株)丸聴ナカムラ工業(代表取締役 仲村聡さん)より、仲村聡さんホールインワン達成記念コンペでの収益金二十四万一千円。

沢海の井浦十郎さんより、奥さんの香典返しとして十万円。ご厚志に感謝します。

## 横越郵便局 移転便局 オープン



新しい横越郵便局

7月14日、横越郵便局が移転し、オープンしました。  
一方通行といった交通の不便さや局舎が狭いなどの理由で、中学校隣地から川根谷内バス停付近の国道沿いに移転しました。新局舎は、薄紫と白を基調とした落ち着いたデザインで、駐車場もあり、以前よりも広々とし、利用しやすくなりました。  
新住所は、大字横越一九四二―一です。

## 家庭でできる夏の省エネ実践

夏は、電力需要がピークを迎えます。この時期こそ、一人ひとりが省エネについて考え、行動することが大切です。そこで、家庭でできる夏の省エネ対策をいくつか紹介します。

### ①エアコンのドライ機能

室温が同じでも、湿度が一五%違うと一度の違いを体感します。気温と設定温度の差が少ないときは、消費電力の少ないドライ機能を活用しましょう。

### ②エアコンと扇風機の併用

同じ温度の空気でも、風として体に当たると涼しく感じます。冷房と扇風機を同時にうまく使えば、設定温度を高めにしても

十分な涼しさが得られます。  
③冷蔵庫には詰めすぎない  
冷蔵庫に食品を詰めすぎると冷気の循環が妨げられ、四〇五%の電気を多く使います。冷蔵庫・冷凍庫とも、適当な空き間を空けましょう。

④電源プラグを抜きましょう  
使っていないくても、電源プラグがコンセントにつながっているだけで電気を消費する「待機時電力」が最近、増えています。ある家庭では、主電源をオフにして、電源プラグをこまめに抜くだけで年間七二一キロワット、約一万八千円の電気料金が節約できました。